

授業紹介－2022年度地域健康サポーター実習報告会・交流会－

科目責任者：岡田麻里（在宅看護学）

本学では2～4年生が、地域にでて幅広い年代や健康レベルの住民の方との活動の企画や交流をとおして学ぶ、地域健康サポーター実習を行います。4月7日に学内で2022年度報告会・交流会を行いました。新3年生は14の活動に分かれ、2年生・1年生に活動紹介をしました。今年度は、プログラム作成・全体のとりまとめ・総合司会等も3年生が行いました。新4年生も活動報告や2年生の誘導や声掛けなどで、参加しました。学生の学びは「普段は出会わない当事者の不安や生活しづらさを学び、支援のあり方を考える機会になった」「誰もが参加できるように工夫し声を掛け合うことの大切さや楽しさを学んだ」「同じ悩みをもつ者の体験の共有や相談しあう場の大切さを学んだ」等、体験型学習だからこそ得られる学びを実感していました。学生を受け入れる地域の方からも、励ましや温かいお言葉をいただきました。課題は山のようにありますが、少しずつ改善し、今年度も活動を継続していきます。

【報告会の様子】



「手話サークル」の紹介
熱心に聴く新2年生



「地引網」の紹介
司会・タイムキーパーをする新3年生

【交流会の様子】



「香川県学生赤十字奉仕団 Lovers」の紹介



「せとっ子の会」の紹介